

平成29年度 事業計画

少子高齢化に加え、人間関係の希薄化による支え合い機能の低下、経済的問題による生活困窮など、地域における生活課題が多様化・複雑化しています。これを受け、法制度改正など地域福祉を取り巻く環境も大きく変化しています。社会福祉協議会はこれらのトレンドにしっかりと対応して事業の展開を図るため、「地域福祉活動計画」を推進し、地域福祉推進の中核的機関として、「互いに支え合い、安心して生活できる福祉のまち・篠栗づくり」に取り組んでいかなければなりません。

そこで、これらの時代の要請に対応しつつ、次の諸事業について、住民参加による地域福祉を推進してまいります。

安心して生活できる地域福祉の構築の柱とされる「ふれあい・いきいきサロン」や「ボランティア活動」の推進、要援護者の見守りとして乳酸菌飲料の配布、高齢者の皆様が安心して生活できるよう、事前に預託金を預かり、葬儀・家財処分等を実施する「ずっと安心スマイルライフ事業」、又、介護保険制度の改正に伴う地域支援事業への取り組みの1つとして、「まちなかカフェ」を実施します。

子育て支援事業については、「栗の子保育園」の運営を充実させ「ふれあい・子育てサロン」等と連携し地域での子育て支援の拠点として取り組みます。障がい者支援活動については、レスパイトケア事業として「すまいるサロン」1年間の学習発表・交流の場として「すまいるサロンコンサート」知的障がい児・者を対象とした「ふれあい・サタデー」など、地域で支える仕組みづくりを推進してまいります。

また、ひとり親家庭支援事業として「ふれあいデイキャンプ」ボランティアの担い手を育成する講座や、小学生には欠かせない福祉教育としての体験講座など引き続き実施し、新年度は新たに「手話奉仕員養成研修」に取り組み地域を支える人材確保に努めます。

介護保険事業につきましては、平成28年度から行政で取り組まれます新しい介護予防・日常生活支援総合事業の協議体運営を町と連携し取り組んでまいります。訪問介護事業につきましては、依然として厳しさが続きますが、利用者ニーズに沿ったサービス提供を実施できるよう、人材確保、研修による資質向上を図り、また、広報活動を充実し利用者の獲得、運営の健全化に努めていきます。

収益金を一般会計に繰り入れ充当している葬祭事業は、利用者のニーズに沿ったサービスの向上に努め、利用率の増加に努めてまいります。衣裳貸出事業は、ニーズの高い衣裳を揃えより多くの方にご利用いただけるよう努めます。仏舎利殿納骨堂管理運営事業につきましては、利用者に安心してご利用いただき、永代供養のニーズにも対応できるよう改修整備に努めてまいります。

重点目標並びに主な事業の実施計画（案）は、次のとおりです。

I 重点目標

「地域のつながり、支え合いを実感できる仕組みづくり」を推進し、期待され、信頼される社会福祉協議会を目指す。

- | | | |
|----------------------|---------------|--------------------|
| (1) 安心して生活できる地域福祉の構築 | (2) 栗の子保育園の運営 | (3) 介護保険事業等の運営の健全化 |
| (4) 収益事業の充実強化 | (5) 運営基盤の強化 | |

主な事業計画（重点事項抜粋）

安心して生活できる地域福祉の構築

- 地域福祉活動計画の推進
- ふれあい・いきいきサロン

平成27年度 184回 参加者 6,093人
平成28年度 183回 参加者 6,190人見込

- ボランティア養成講座

- ・夏休み福祉体験教室
　様々な障がいを理解するための体験学習等。

- ・精神保健福祉講座
　精神障害を理解しボランティア活動に繋げます。

- ・視覚障がい者の外出支援ボランティア養成講座
　外出時のサポート技術を学ぶ実践講座

- ・認知症サポーター養成講座
　認知症を正しく理解してもらい地域での見守り活動を推進します。

- ・手話奉仕員養成研修
　専門技術を習得し奉仕員活動に繋げます。

- 街中カフェ（庄区・オアシス篠栗）

地域や人とのつながりを持てる場所を提供します。

子育て支援

- 栗の子保育園の運営
- ふれあい・子育てサロン（閉じこもり防止・仲間づくり）
- ぐりっこだよりの発行 月1回発行
- たのしい子育て講座
　・幼児安全法 緊急時の対処法等学びます。

- ・父親向け子育て講座 子育てにどう関わっていくか学びます。

- ・抱っこ法講習会
　親と子の心を繋ぎ育児の悩みなど解決していきます。
- ・ベビーサイン体験教室
　子どもと親のコミュニケーションの取り方について学びます。

高齢者福祉

- ずっと安心スマイルライフ事業

事前に預託金を預かり、葬儀・家財処分等行います。

障害者福祉

- すまいるサロン・すまいるサロンコンサート

余暇活動の場・レスパイト事業

サロン参加者を対象に年1回音楽コンサート開催予定

- ふれあいサタデー（社会参加・地域交流・仲間づくり）
　知的障がい者等およびその家族を対象とした野菜つくり活動

一般福祉事業

- 日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などに不安がある方のお手伝いをします。

ひとり親家庭支援

- ふれあいデイキャンプ

野外活動を通して親子のふれあい、交流会を行います。

介護保険事業

- 生活支援体制整備事業協議体

主な事業計画 ※新規事項

1 安心して生活できる地域福祉の構築

(1) 地域福祉活動計画の推進

(2) ふれあい・いきいきサロン

(3) ボランティア活動

◆ ボランティアセンターへの依頼（活動数）

2,095人（平成27年度）

1,093人（平成28年度見込み）

○ 新規ボランティアの育成

○ ボランティア養成講座

夏休み福祉体験教室

視覚障がい者の外出支援ボランティア養成講座

精神保健福祉講座・手話奉仕員養成研修

○ ボランティア活動の支援強化…ボランティア連絡協議会への助成

※ ○ まちなかカフェ（庄区・オアシス篠栗）

(4) 児童福祉

○ 福祉教材の配付（小学校3年生）

○ 子ども育成会へ助成

○ 児童・青少年福祉事業へ助成

○ 福祉協力校への活動支援

※ ○ オアシス学習会

(5) 子育て支援

○ 篠の子保育園の運営

○ ふれあい・子育てサロン

○ ぐりっこだよりの発行

○ たのしい子育て講座

幼児安全法・父親向け子育て講座

抱っこ法・ベビーサイン体験教室

小物づくり講座

(6) 高齢者福祉

○ しるばア大学

○ 老人クラブ連合会へ助成

○ 老人クラブ（空き缶クリーン作戦）への助成

○ ひとり暮らしの高齢者等の見守り

乳酸菌飲料配布（70歳以上）

○ マッサージ・鍼灸への助成（65歳以上）

○ 福祉餅つき大会

○ ずっと安心スマイルライフ事業

(7) 障害者福祉

○ すまいるサロン

○ すまいるサロンコンサート

○ ふれあいサタデー

○ 移送サービス事業

○ 紙おむつ配付

○ 歳末助成

○ 心身障害児・者親の会（栗の実会）へ助成

○ 身体障害者福祉協会へ助成

(8) 生活困窮者自立支援

○ 生活福祉資金貸付

(9) 一般福祉サービス

○ 高齢者の集い（9月3日（日）予定）

○ 心配ごと相談（毎月2回弁護士・司法書士・相談員）

- 福祉バスの運行
 - 初盆供養供え物配付
 - 福祉用具の貸出
 - キャンプ用テント貸出
 - 餅つき道具の貸出
 - 日常生活自立支援事業
 - (10) ひとり親家庭支援
 - ふれあいデイキャンプ
 - (11) 広報活動
 - 広報紙「社協だより」の発行
 - ホームページでの情報発信
 - 行事カレンダーの発行
- 2 運営基盤の強化
- (1) 自主財源の確保
 - 会員制度の推進
 - 共同募金運動の推進
 - (2) 組織運営の機能強化
 - 理事会・評議員会の充実
 - 職員の資質向上
- 3 介護保険・介護予防・障害者自立支援事業の運営の健全化
- (1) 介護予防・障害者自立支援事業
 - 障害者自立支援事業に係わるホームヘルプサービス
(身体・知的・精神障がい児、者)
 - 産後支援・家事援助に係わるホームヘルプサービス
 - (2) 介護保険事業
 - ※ ○ 生活支援体制整備事業協議体
 - 訪問介護
- 広報・宣伝活動の強化（ホームページ）
 - 人材確保
 - ホームヘルパーの研修による資質向上
 - 利用者ニーズに沿ったサービス提供
- 4 収益事業の充実強化
- (1) 衣裳貸出事業
 - 着付け教室の開催
 - 宣伝活動の強化（ホームページ・リーフレットの作成）
 - 七五三衣裳などの充実
 - (2) 仏舎利殿管理運営事業
 - 管理運営の検討
 - 春・秋の法要
 - 整備・維持の充実
 - (3) 葬祭事業
 - 永代供養
 - 整備・維持の充実
- | | | | |
|----------------|------|-----------|---|
| ★ 平成 29 年度（予算） | 事業収入 | 34,562 千円 | } |
| | 賃借料 | 7,734 千円 | |
- 一般会計へ繰入
(平成 29 年度予算)
2,000 千円
- ★ 葬儀件数
- ① 平成 27 年度 167 件 [天空会館 167 件 (100%)、
自宅 0 件 (0%)]
 - ② 平成 28 年度 (見込)
193 件 [天空会館 193 件 (100%)、
自宅 0 件 (0%)]

栗の子保育園

事業運営の基本的考え方

- 保育の理念 一人ひとりを大切にしながら、子ども自らが周りの環境（自然・人・物）にかかわり、生活経験を豊かにすることを重視し、しなやかでたくましい心と体をもった子どもの育成を目指します。

1 保育目標

- ・生きる喜びと困難な状況への対処する力を育てる。
- ・豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培う。
- ・心身の健康の基礎を培う。
- ・思いやりの心を育てる。

2 保育方針

- ・子どもたちが健やかに育つよう子どもの安全と健康には十分な配慮をいたします。

- ・子ども一人ひとりとの心の触れ合いを大切にし、子どもの気持ちを受容することを第一に考えます。

- ・自己を表出することが中心の生活から自我が芽生え、自己主張のぶつかり合いから自律性が芽生えてくる乳幼児期の特性をふまえ、一人ひとりの発達に合わせた保育を心がけます。

- ・基本的に幼児期には苦手なことを克服する喜びよりも、熱中する樂しみを十分に味わうことの方を大切だと考えています。

- ・子どもが受け身になるのではなく、興味関心をもって意欲的に物事に関わっていくことを大切にします。

- ・驚きや感動など心を揺り動かされる直接経験の機会を大切にします。

- ・家庭との連携をとりながら、子どもと保護者を支えます。（写真掲示、個人懇談、園だより「クラス・保健・給食」、保育参観、連絡帳）

- ・地域のお年寄りとのかかわりを大切にします。

3 保育の内容

- ・遊び中心の保育で、子どもの自発的な活動が中心になります。必要に応じて一斉保育をしたり、徐々に遊びを広げていきます。
- ・子ども一人ひとりの興味や関心を尊重し、温かい見守りや遊びが楽しくなるように援助していきます。
- ・遊びの中で、楽しさ、嬉しさ、喜び、戸惑い、惑い、不安などさまざまな感情を経験させ、葛藤を乗り越える力をつけさせるような保育を心がけます。
- ・園内外での豊かな自然体験を大切にします。
- ・子ども自身に、危険を回避する力が育つような保育を心がけます。

4 安全管理

- ・安全を第一に、安心・寛容・和やか・明るく・楽しい雰囲気の保育運営に努める
 - ・月に一回の避難訓練を通して、様々な災害を想定し、命を守る方法を伝えると共に施設の安全点検や補修に務める。
 - ・職員研修を通して職員の資質向上に務める。

5 保健衛生

- ・健康診断（内科検診・歯科検診・視力聴力検査）、身体測定、尿検査、ぎょう虫卵検査を実施し園児の健康状態の把握に務める。
- ・関係機関と連絡を密にし、感染症等の予防防止に細心の努力を払う。

6 保護者、地域との連携

- ・各種の便りや掲示板を利用し全体の連絡事項は細やかに伝えていく。
- ・保護者会と緊密に連携し、園児の健全な育成のために理解と協力を求めていく。
- ・小学校、中学校、地域の高齢者やボランティアと連携し交流を深める。

7 年間行事

- 4月 入園式 進級式 内科検診 身体測定
- 5月 尿検査
- 6月 親子遠足 家族の日 お年寄り・ボランティアとの交流(園庭菜園)
歯科検診 ぎょう虫卵検査 身体測定
- 7月 夏祭り
- 8月 自然体験学習川遊び(ひまわり組のみ) 身体測定
- 9月 就学時検診(視力・聴力検査ひまわり組のみ)
- 10月 運動会 園外保育 社会体験学習 JR乗車体験(ひまわり組のみ)
内科検診 身体測定
- 11月 ささりんピック(ひまわり組参加) 保育参観
お年寄り・ボランティアとの交流(園庭菜園収穫) ぎょう虫卵検査
- 12月 クリスマス会 個人懇談 給食試食会 身体測定
- 1月 幼年消防クラブ出初式(ひまわり組参加) 歯科検診 尿検査
- 2月 節分 お年寄り・ボランティアとの交流(園庭菜園)
生活発表会 身体測定
- 3月 ひな祭り 観劇会 お別れ会 卒園式

8 特別保育

- ・障がい児保育 篠栗町障がい児等保育事業実施要綱に基づき、篠栗町と連携し実施する。
 - ・延長保育 保育時間 18時～19時 利用負担金 月額 3,000円 当日のみ1時間 500円
 - ・一時保育
- ①緊急保育サービス事業 緊急・一時的に家庭保育が困難となる児童に対する保育サービス
- ・年間30日を限度 保育時間 通常の開設日 9時～17時
- ②リフレッシュ保育サービス事業 保護者の心理的又は肉体的負担を解消するなど私的の理由により、一時保育が必要となる児童に対する保育サービス
- ・週3日を限度 保育時間 通常の開設日 9時～17時
利用負担金 1時間 500円
給食費 完全給食・おやつ提供 300円 おやつのみ提供 100円